



令和6年3月22日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

**大学発新産業創出基金事業**  
**ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-GlobaI）**  
**2023年度新規採択課題の決定について**

JST（理事長 橋本 和仁）は、ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-GlobaI）における2023年度の新規課題6件を決定しました（別紙）。

本プログラムは、大学等発の技術シーズを核にして、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルのあるディープテック・スタートアップの創出を目的とします。この目的を達成するため、技術シーズの事業開発に責任を有する事業化推進機関および研究開発に責任を有する研究代表者が共同代表者となり、事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもとに事業化マイルストーンおよび研究開発マイルストーンを設定し、両者が一体的に課題を推進します（参考）。

本年度は2023年8月29日（火）から11月30日（木）まで提案募集を行ったところ、32件の応募がありました。それらの応募に対し外部専門家で構成された委員会による書類審査と面接審査を実施し、その結果を基に6件の新規課題を採択しました。

今後、契約などの条件が整い次第、研究開発を開始する予定です。

なお、本プログラムの詳細については下記ホームページをご覧ください。

URL：<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/deeptech/index.html>

**<添付資料>**

別紙：大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム 採択課題一覧（2023年度審査分）

参考：大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム 概要

**<お問い合わせ先>**

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部  
〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町  
森田 浩（モリタ ヒロシ）  
Tel：03-5214-7054 Fax：03-3238-5373  
E-mail：[start\[at\]jst.go.jp](mailto:start@jst.go.jp)

### <科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちほだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

大学発新産業創出基金事業  
ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム  
採択課題一覧（2023年度審査分）

課題名	事業化推進機関※1	研究代表者※2	課題概要
プラスチック混合廃棄物や繊維製品に対する革新的ケミカルリサイクル技術の事業化検証	京都大学イノベーションキャピタル株式会社	弘前大学 地域戦略研究所 准教授 吉田 暁弘	複数素材の混合を許容できる革新的ケミカルリサイクル技術の開発を進め、今後さらに需要の高まるサステナブルなリサイクルポリエステルおよびその原料を経済的かつ大量に製造販売できるスタートアップの設立を目指す。
ペプチドを基盤とした新規モダリティ「分子集合体治療」の創出	株式会社ケイエスピー	東京医科歯科大学 統合研究機構 脳統合機能研究センター 准教授 味岡 逸樹	ペプチド分子集合体の動的制御技術を活用し、既存の治療モダリティ「分子治療」とは異なり、分子が集合化して機能を発揮する新しい治療モダリティ「分子集合体治療」を創出するためのスタートアップ設立を目指す。
mRNA構造を標的とした新規免疫炎症制御医薬研究開発	株式会社ファストトラックイニシアティブ	京都大学 大学院医学研究科 教授 竹内 理	mRNAのステムループ構造を標的とした免疫・炎症を制御するアンチセンスオリゴ核酸を開発し、ヒト免疫・炎症疾患およびがんを対象とした核酸医薬品群を創製するスタートアップの設立を目指す。

課題名	事業化推進機関※1	研究代表者※2	課題概要
i P S細胞由来3次元成熟心臓組織を用いた新規心臓病研究プラットフォーム事業	D C I パートナーズ株式会社	京都大学 i P S細胞研究所 (C i R A) 准教授 吉田 善紀	独自に開発したヒト i P S細胞由来の3次元成熟心臓組織を用いて、①新規開発薬に対する心臓への機能評価・毒性評価の受託事業および②心臓病新規治療薬開発事業の2つを柱とするスタートアップ設立を目指す。
革新的マイクロLEDディスプレイ実現に向けた希土類添加GaNLEDの事業化	B e y o n d N e x t V e n t u r e s株式会社	大阪大学 大学院工学研究科 教授 藤原 康文	世界で唯一無二の希土類添加半導体の技術を活用して、高輝度、高精細のマイクロLEDを開発し、次世代AR/V R機器用の革新的マイクロLEDディスプレイ用デバイスを実現するグローバルスタートアップの設立を目指す。
慢性腎臓病腎機能改善薬の国際展開に向けた研究開発	B e y o n d N e x t V e n t u r e s株式会社	岡山大学 研究推進機構 医療系本部 教授 中山 雅敬	腎臓のポドサイトの障害による慢性腎臓病・ポドサイトパチーに対して、新たに解明されたメカニズムを基に腎機能を回復する薬剤の研究開発を進め、その国際展開を図るスタートアップの設立を目指す。

※1 事業化推進機関が複数の場合は代表事業化推進機関を記載

※2 所属・役職は応募時点

## 大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム 概要

### 1. 大学発新産業創出基金事業の趣旨

大学発新産業創出基金事業は、スタートアップ育成5か年計画（令和4年11月政府発表）などを踏まえ、日本における大学等発スタートアップ創出力の強化に向けて、研究開発成果の事業化や海外での事業展開の可能性検証を視野に入れた研究開発を推進するとともに、地域の中核となる大学等を中心とした産学官共創による大学等発スタートアップ創出支援などの実施を可能とする環境の形成を推進します。

### 2. ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム（D-GlobaI）について

#### （1）概要

本プログラムはディープテックの技術シーズを核に国際市場への展開を目指す大学等発スタートアップの創出に向けて、概念実証以降のステップに入ることが適切と判断され、審査を経て採択された課題の事業開発と研究開発を支援します。

採択課題は、技術シーズの事業開発に責任を有する事業化推進機関および研究開発に責任を有する研究代表者が共同代表者となる体制をとり、事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもと、社会・経済に大きなインパクトを生み、国際展開を含め大きく事業成長するポテンシャルを有するディープテック・スタートアップの創出を目指した取り組みを推進します。

#### （2）研究開発期間

最長3年程度（令和8年度末まで）

#### （3）研究開発費（研究開発期間総額、直接経費）

原則3億円程度まで

※正当な理由がある場合、上限5億円

以上